

パーキンソン病に対する

脳深部刺激療法(DBS)

 刺激装置の遠隔操作など近年の技術革新についてもお話しします。

2025年
12月17日(水) 12:15~12:45



本講座はZoomを使ったオンラインセミナーです。受講するには、Zoomを利用できる環境が必要です。

脳深部刺激療法 (DBS)は、パーキンソン病が進行し、薬だけでは症状を改善するのが難しい場合に検討される**外科療法**です。脳深部に**細い電線を挿入し電気による刺激**で症状の改善を図るものです。20年以上の実績があり、国内9,000例以上の実績がある**確立された治療法**です。

今回、専門の医師が、適応者、効果や注意点、刺激装置の遠隔操作など近年の技術革新について解説します。

目次

1. 脳深部刺激療法の適応者
2. 効果及び注意点
3. 刺激装置の遠隔操作など近年の技術革新

講師

埼玉県総合リハビリテーションセンター

脳神経外科 医師

渡邊 充

- ・医学博士
- ・日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医
- ・日本定位・機能神経外科学会機能的定位脳手術技術認定医
- ・日本臨床神経生理学会認定専門医

対象者

- ・医療・福祉関係者
- ・患者・ご家族

お申込みはWEBから

右記QRコード※ または センターHP よりお申込みください

- ・申込が完了するとno-reply@zoom.usからメールが届きます。
- ・受信拒否設定等されている方は、こちらのメールアドレスからの受信を許可してください。
- ・申込個人情報の取扱い：お申込みの際に取得した個人情報は、受講管理にのみ使用し、他の目的には使用しません。
- ・本研修の録画・録音、及び資料の2次利用、詳細内容のインターネット上への投稿等はお断りいたします。

これらの行為が発覚次第、著作権侵害として対処させていただく場合がございます。

※ QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

＼当日までお申込み可能です！／



埼玉県総合リハビリテーションセンター 職員・企画担当

電話：048-781-2222

メール：n8122221a@pref.saitama.lg.jp



埼玉県のマスコット コバトン&さいたまっちゃん

